◎ 道徳部門

１　研究主題

「特別の教科道徳の充実を目指した授業づくり～教材研究の方法と発問づくり～」

２　基本方針

（１）研究委員会を年２回、道徳授業づくり研修会を夏季休業中に１回開催し、天草管内の道徳教育の充実・発展に資するための活動を行う。

（２）熊本県道徳教育研究会、熊本県天草教育事務所等との連携を図る。

３　活動内容

（１）　６月１１日（金）　第１回研究委員会

ア　天草教育研究所部門別会長会報道

イ　九州地区道徳研究大会・熊本県道徳教育研究大会について

ウ　本年度の事業計画作成

（２）　７月２６日（月）道徳授業づくり研修会準備委員会

ア　「道徳授業づくり研修会」企画・打合せ（役割分担）

（３）８月２日（月）「道徳授業づくり研修会」

ア　場所　天草教育会館

イ　内容　道徳の授業づくりについて

ウ　参加者　３０名

エ　日程

・実践発表　　阿村小　城下美穂教諭

・道徳授業づくり講座

（講師）坂瀬川小　梶原圭一校長

・まとめ

（４）　２月４日（金）　第２回研究委員会→熊本県がまん延防止等重点措置の対象となったため、中止。年間活動並びに反省は紙面にて行った。

４　まとめ

夏季休業中に午前半日の「道徳授業づくり研修会」を実施した。今年度はコロナ禍であったので、天草教育研究所道徳部門の先生方のみを参加の対象とし、人数を絞っての実施となった。内容は、一昨年度の授業で生かせる「教材分析と発問づくり」研修が好評であったので、今年度は、「教材研究の方法と発問づくり」とし、研究委員の実践からの学びを中心に研修を行った。まず、今年度の県大会分科会提案者の上天草市立阿村小学校の城下美穂教諭が、「学級経営と関連的指導の工夫」についてこれまでの取組の実践発表を行った。次に、苓北町立坂瀬川小学校の梶原圭一校長が「授業づくり実践講座」を行い、道徳科のねらいや授業づくりの基礎基本、児童の実態と中心発問の関係性等具体例を挙げながら説明した。参加の先生方に中心発問を考えてもらう時間を設け、先生方の今後の実践につながるようにした。最後に、考え・議論する道徳の姿や授業改善について、会長がまとめを行った。前もって参加者の授業づくりの悩みや疑問点を把握しており、その答えとなる話を交えながら、またこれまでの実践を交えながら、道徳授業と発問、道徳教育の捉え方について説明をした。参加者からは、「教材分析のポイントが分かった」「道徳科の授業に自信をもって取り組むことができる」「来年度もぜひ参加したい」等の声が上がった。児童の実態を元にした教材分析や発問づくりは、考え・議論する道徳科の授業展開の重要な要素である。また、道徳科を要とした道徳教育を丁寧に行ってもらうことが子ども達の道徳的実践力へとつながる。来年度も、多くの先生達の学びが深まる研修を進めていきたい。